

(株)B-Prost BextWebserviceを展開

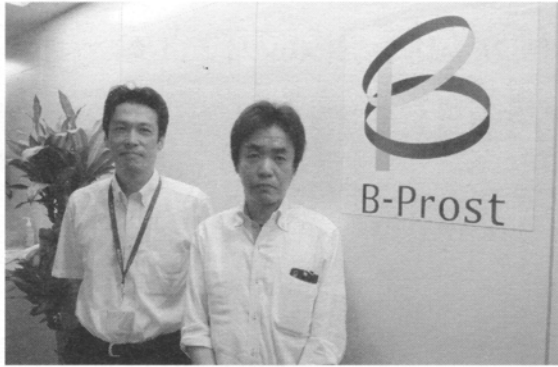
システム化早期に実現 保険料率計算

大同火災が8月以降に本格稼働

(株)B-Prost(魚住憲治代表取締役社長)は、保険会社に自社のITシステムを活用したソリューションを提供している。2月に発表した「BextWebservice(ベクトウエブサービス)」は、計算仕様書と料金計算定義が一体化され、商品開発での生産性と保守が容易になるとともに、商品規定チェックやコード・メッセージ処理、PDF帳票の作成も手軽にできることから、全保険商品のシステム化が早期かつ安価に実現できる。すでに沖縄県那覇市の大同火災が導入しており、8月以降に本格稼働する予定だ。同システムの詳細について、(株)B-Prostの徳毛弘貴執行役員と、ソリューション営業部の田中一成特命専任チーフに聞いた。

——経営理念について

魚住 当社は2003年に設立し、保険会社にとって最適なソリューションを提供することを理念に掲げている。主に損害保険会社や共済関連を対象として、



(左から)田中特命専任チーフと徳毛執行役員

にシステムの設計や開発、コンサルティングサービスなどを展開している。他、魚住社長をはじめ社員が多くが損害保険会社での勤務経験があり、保険会社の現場を想定して実務に生かせるシステムが提案できることを強みとしている。

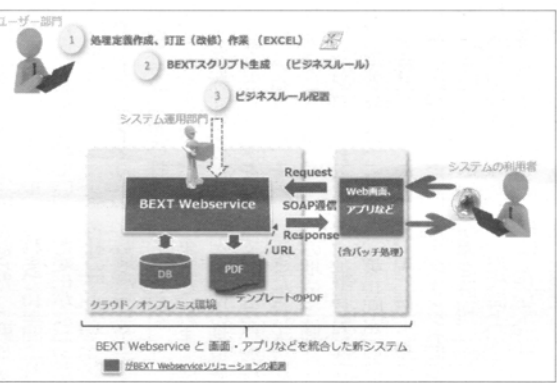
——新システム開発のきっかけは。

魚住 保険分野では、ユーザーが作成する料率計算ツールと基幹システムの開発・改修の結果、付け合わせを行う際に、仕様の認識誤りなどで遅れが発生するケースが多々ある。これは時間やコストなどの面で課題視されている。そこで当社では、エクセルで作成できる定義をルール化して使用することを考え、新システム「BextWebservice」を開発した。

——概要について。

徳毛 新システムは、「ユーザーがルールを作成できるようにしたい」「さまざまな分野の企業に使用してほしい」などの思いから開発した新しい

ソリューションだ。専門知識を持たない人でも、エクセルの関数を使って簡単にルールが作れ、Web画面やアプリなどに容易に連携させることができる。また、特別なプログラミングの知識も不要で、エクセルとエクセル関数の知識さえあればルールが作成できる仕組みになっている。そのため、ルール作成はもともと、ルールに変更があってもシステム部門に依頼することなく、ユーザー側ですぐに変更できる。さらに、画面などのインターフェイスがなく、別々のポータルシステムなどと組み合わせ使用するため、さまざまなポタ



BextWebservice使用時の流れ

タル側にプログラミングするのと比べて、エクセルで定義することでポータル側の開発をシンプルにし易くなる。また、エクセルで定義した内容と同様に進められるため、事前にエクセル上でテストすることが可能となる。他、仕様に関する説明も合わせて記述でき、見える形で事前の認識のすり合わせが容易に実現できる。

——大同火災が新システムを導入した経緯は。

田中 大同火災さんは以前から基幹商品の代理店システムを使って保険料見積りや異動計上などを実施しており、一部商品に対しても見積試算のツールをエクセルやアクセスで代理店に提供していた。これらは代理店への配布や世代管理が煩雑であったため、WEB型での統合システムの構築を検討した結果、当社の新

homai web

保険毎日新聞社の
ホームページ

<http://www.homai.co.jp>

システムを採用していた。——新システムに関する今後の動向をどう見ているか。

徳毛 新システムはさまざまな企業に活用してもらえるものだが、まずは当社が得意とする保険分野でのクライアントを増やしていきたい。BEMS(ビジネスルールマネジメントシステム)とは異なり、より簡易的にかつ容易に使用できることから、多くの保険会社に導入してもらえよう取り組む方針だ。

数の仕様可否が発生することや個人化を防ぐために、使用できる関数の種類を限定するなどいくつかの制約を設けている。

——主な特長は。

田中 複雑になりやすい判定や計算などをポータル側で処理する

——ユーザーがルールを作成できるようにしたい

「さまざまな分野の企業に使用してほしい」などの思いから開発した新しい